

あなたと議会を結ぶ りっとう議会だより

No. 177
2016年2月1日発行

発行/栗東市議会 編集/議会広報編集特別委員会 〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
TEL 077-551-0137 FAX 077-551-0146 メールアドレス/ gikai@city.ritto.lg.jp



第4回 子ども議会

第4回
栗東市子ども議会



平成27年12月定例会は、市長から提案された15議案（人事1件、条例3件、予算5件、その他6件）と、請願書、意見書について審議しました。

2015年11月1日発行りっとう議会だよりNo.176におきまして、記載に誤りがありました。お詫びするとともに、訂正します。正しくは以下のとおりです。
P.5 個人質問 國松篤議員 左側2行目（誤）平成22年度に開通（正）2022年度に開通
P.7 個人質問 上田忠博議員 左側2行目（誤）その概要、行程期間（正）その概要、工程期間

委員会報告	3
各常任委員会が議案を審査	
個人質問	5
議員がそれぞれのテーマについて聞きました	
似顔絵	9
栗東高校美術科に作成していただきました	
議会報告会	10
議会報告会を開催しました	
子ども議会	11
第4回子ども議会を開催しました	



12月定例会

採決結果の後に、「別表」とある議案の採決結果については、2ページの表をご覧ください。「全」とある議案は全員一致で可決されましたので表への記載は省略しています。

人事

人権擁護委員に、三浦 滋氏

任期満了に伴い、三浦滋氏を推薦することについて、意見を求められました。

(適任)

条例

一部改正

税条例等

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、納税者の申請による徴収猶予制度及び換価猶予制度の創設、担保の徴収基準の設定等、所要の改正を行うものです。

(可決・全)

新たな条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づき、個人番号を利用する事務及び提供を受ける特定個人情報等を定めるものです。

(可決・別表)

債権管理条例

市民負担の公平性の確保と市財政基盤の確立に向けて、市が保有する債権を適正に管理するために、制定するものです。

(可決・全)

その他

市道 1路線認定

開発による道路の寄附・帰属のため、総四丁目街区1号線を認定するものです。

(可決・全)

指定管理者の指定について

地方自治法の規定に基づき、栗東市立農林業技術センター、栗東市立自然活用総合管理棟、こんぜの里パンガロー村、栗東市立森林体験交流センター及び栗東

市立自然体験学習センターの指定管理者として、滋賀南部森林組合を指定するものです。

(可決・全)

指定管理者の指定について

地方自治法の規定に基づき、栗東農畜産物処理加工施設の指定管理者として、アグリノの郷栗東株式会社を指定するものです。

(可決・別表)

指定管理者の指定について

地方自治法の規定に基づき、栗東シルバーワークプラザの指定管理者として、公益社団法人栗東市シルバー人材センターを指定するものです。

(可決・全)

指定管理者の指定について

地方自治法の規定に基づき、栗東芸術文化会館の指定管理者として、株式会社ケイミックスを指定するものです。

(可決・全)

指定管理者の指定について

地方自治法の規定に基づき、栗東市体育施設等の指定管理者として、公益財団法人栗東市体育協会を指定するものです。

(可決・全)

・上記、5議案の指定期間は平成28年4月1日から平成33年3月31日までとする。

請願書

「治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）」の制定を求める請願書

請願者：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟滋賀県本部
会長 川端 俊英 氏

請願の内容

治安維持法に関連して逮捕投獄された関係者には、何らの謝罪も被害補償もされず今日にいたっていることから、国が治安維持法が悪法であったことを認めること等を内容とする「治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）」の制定を国に求める意見書を提出されるよう請願するものです。

(不採択・別表)

賛否が分かれた案件の採決結果一覧

多=賛成多数 少=賛成少数 ○…賛成 ●…反対 除…除斥

会 派 名	議員名	採決結果	新 政 会							公明	再生	ネットワーク		共産党						
			寺田 範雄	三浦 悟	上田 忠博	片岡 勝哉	武村 賞	谷口 茂之	田中 英樹	三木 敏嗣	小竹 庸介	野々村照美	國松 篤	櫻井 浩司	田村 隆光	林 好男	中村 昌司	大西 時子	伊吹みちえ	
■ 議 案																				
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例			多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
指定管理者の指定について ・栗東農畜産物処理加工施設			多	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●
■ 請 願 書																				
「治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）」の制定を求める請願書			少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
■ 意 見 書																				
TPP交渉「大筋合意」の撤回を求める意見書			少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○

除斥…議会における審議の公正を保つために、議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議に参加することができないとする制度です。

*議長（藤田啓仁議員）は採決に加わらない

*会派名の正式名称は次のとおり

公明→公明栗東 再生→栗東再生市民派クラブ ネットワーク→栗東市民ネットワーク 共産党→日本共産党議員団

平成27年度 一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計	6億9,552万9千円 (増額)	241億 839万1千円	教育費・土木費等の増額	可決・全
国民健康保険特別会計	100万円 (増額)	61億 1,057万5千円	償還金及び還付加算金の増額	可決・全
介護保険特別会計	817万円 (増額)	31億 8,238万2千円	保険給付費等の増額	可決・全
水道事業会計	420万7千円 (増額)	19億 7,885万8千円	建設改良費等の増額	可決・全
公共下水道事業会計	716万3千円 (増額)	33億 2,034万8千円	建設改良費の増額	可決・全

【臨時会】 10月26日開催 平成27年第5回臨時会では、市長から提出された議案3件を審議しました。

損害賠償の額を定めることにつき議会の議決を求めることについて

平成27年8月4日に栗東市安養寺二丁目地先において発生した水道本管の破損による普通乗用車の破損事故に関し、損害賠償の額を定めるものです。

・損害賠償額 1,676,871円 (可決・全)

損害賠償の額を定めることにつき議会の議決を求めることについて

平成27年8月4日に栗東市安養寺二丁目地先において発生した水道本管の破損による車庫の屋根破損事故に関し、損害賠償の額を定めるものです。

・損害賠償額 653,335円 (可決・全)

平成27年度 特別会計補正予算

会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
水道事業会計	250万円 (増額)	19億 7,465万1千円	水道事業費用の増額	可決・全

★本会議の様子を視聴できます★



栗東市議会ホームページで
<http://www.kensakusystem.jp/ritto-vod/index.html>

本会議録画映像

栗東市議会 インターネット中継

検索

委員会報告

総務常任委員会

平成27年度

一般会計補正予算等を審査

当委員会は、付託された議案4件、請願書1件について審査しました。

平成27年度一般会計補正予算について、委員から①マイナンバーカードに関して、1日にどれくらい作成でき、どの程度カード申請があるのか。②防犯のまちづくり推進事業の防犯灯設置補助金についての詳細は、との質疑に対し、当局から①一人あたり最短で15分程度掛かる予定。機械2台で1日56人、1か月で約1,200人のカード交付予定。1月から交付し、現在、市では1,300の方が交付申請中。②平成26年度は381灯の補助実績があり、平成27年度は既に454灯のLED化の補助を行っている、との答弁がありました。



▲市内設置のLED防犯灯

債権管理条例の制定について、委員から、条例制定への取り組み体制等は、との質疑に対し、当局から、職員22名17課の係長級職員によるプロジェクトチーム（債権管理連絡会議）を構成し、継続して協議を行っている。また、今後の取り組みや研修など調整を行い、連携・周知をしていく、との答弁がありました。

付託された4議案について、その他多くの質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）」の制定を求める請願書について、審査の参考とするため、紹介議員から説明を受け、質疑の後、反対討論があり、採決の結果、不採択すべきものと決しました。

環境建設常任委員会

指定管理者の指定等について審査

当委員会は、付託された議案7件について審査しました。また、審査に先立ち環境センターの現場視察を行いました。



指定管理者の指定について^{*1}、委員から①赤字となっている事業はどの事業か。②バンガロー村は、かなり手を加えないと経営が苦しいと考えるが、改善する計画は、との質疑に対し、当局から①「農林業技術センター」と「こんぜの里バンガロー村」の管理である。②利用が少ない冬季の営業を見直すなど、コストを考慮しながら経営したい、との答弁がありました。

指定管理者の指定について^{*2}、委員から①収支予算について、指定管理費が計上されていない理由は。②代表取締役が議員であること、また、体育施設の募集要項には、応募資格「議員本人が取締役ではない事」と明記されているが本件の募集要項には記載がない中で、管理者として指定することについて法

的には問題ないのか、との質疑に対し、当局から①委託料なしで提案されたため、計上していない。②指定管理は契約行為でない事から、議員の兼業禁止には該当せず、法律上問題ない、との答弁がありました。

平成27年度水道事業会計補正予算について、委員から、時間外手当の増額は、過日の安養寺の水道管破損事故によるものか、との質疑に対し、当局から、今年度安養寺で発生した事故2件分の時間外手当を増額するものである、との答弁がありました。

当委員会に付託された7議案について、その他多くの質疑の後、一部賛成・反対討論もありましたが、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

※1…栗東市立農林業技術センター、栗東市立自然活用総合管理棟、こんぜの里バンガロー村、栗東市立森林体験交流センター及び栗東市立自然体験学習センターの管理者として滋賀南部森林組合を指定するもの

※2…栗東農畜産物処理加工施設の指定管理者として、アグリ郷栗東(株)を指定するもの

文教福祉常任委員会

平成27年度一般会計補正予算と指定管理者の指定について審査

当委員会は、付託された議案5件について審査しました。

指定管理者の指定について^{*3}、委員から①選定委員会委員1名が不適合と判断された審査結果をふまえ、市の見解は。②委託料増額分について、市の見解は、との質疑に対し、当局から①評価の低かった収支計画及び管理運営体制について、市と候補者間の協議の中で改善できると考えている。②修繕料の他、光熱水費・人件費の上昇等を含んだ金額と理解しており、年度ごとに査定の上、協定を結ぶ、との答弁がありました。

平成27年度一般会計補正予算について、委員から①生活困窮者自立相談支援事業の相談業務は社会福祉士でなくても実施できるのか。②学校給食共同調理場用地の確保予定面積が計画を上回るが市の考えは、との質疑に対し、当局から①社会福祉士の有資格者が最適と考えるが、応募がなく、他市の例にならない経験者に条件緩和した。②全体の土地形状が正

方形でないこと、また、緑地帯の設置や環境配慮の観点からこのような面積となっている、との答弁がありました。

当委員会に付託された5議案について、その他多くの質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。



※3…栗東市体育施設等の指定管理者として、公益財団法人栗東市体育協会を指定するもの



個人質問

12月9日・10日・11日の3日間、13人が質問しました。質問と答弁の要旨をお知らせいたします。なお、詳細内容は後日、市のホームページ等に掲載します。
似顔絵の作成は栗東高校美術科似顔絵制作チームにご協力いただきました。



中山間地域の インフラ整備について 三木 敏嗣 議員

問 近隣市との境目のインフラ整備や未舗装道路の対策、中山間地の防犯灯の設置を問う。

答 近隣市とは、行政協議会を毎年開催して、課題となっている事業について調整を図るとともに、市において生活道路の状況確認を行い、改修している。他市の管理道路では、その道路管理者に判断を委ねている。

集落間の防犯灯は、防犯上危険であると自治会から要望を受けて、必要に応じて設置する。自治会と協力して犯罪を未然に防ぐ地域社会づくりを目指す。

問 人目のつきにくい地域では不法投棄が多く、特に荒張グリーンランドでは後をたたく、その対策と再開発の考えを問う。

答 全市的の不法投棄撲滅に取り組んでおり、とりわけ当地はパトロール重点地区としての対応にあっている。



▲ごみの不法投棄

また、市街化調整区域であり、インフラ整備の課題が多くあるが整理は進めたい。

問 市街化調整区域の分家等の建築について問う。

答 都市計画法の審査が必要となるため、法令に基づき適正に対応する。



コミュニティセンターの施設と 運営のあり方について 三浦 悟 議員

問 コミュニティセンターの基本方針・理念は。

答 住民自治によるまちづくりの更なる活性化と生涯学習の充実のための活動拠点として、地域住民が自主的な運営をさせていただき施設を目指すものである。



問 センターの地域における実際の役割は。

答 学区の自治連合会・地域振興協議会・各種団体等との連携による地域まちづくりの活動拠点となることと、地域住民や団体等が利用しやすい施設運営をすることである。

問 センター職員がなかなか定着できていない。現在の採用システムは。

答 コミュニティセンター職員要綱により、各学区からの地域推薦を受けて、市が面接を実施し、市の臨時職員として採用している。

問 職員採用の方法について、地域推薦に頼るだけでなく、市も責任を持ってすべきでは。

答 コミュニティセンターの連絡会等で協議をし、解決に向けて取り組む。



後期高齢者健康診査について 伊吹 みちえ 議員

問 平成27年度から75歳以上の健康診査について「生活習慣病受診者等」を対象から除外された。年に一度の健康診査は病気の早期発見・予防に大きな役割を果たしている。なぜ定期的に受診している後期高齢者を健診の対象から除くのか。

答 すでに生活習慣病で定期的に医療機関にかかっている高齢者については、かかりつけ医が全身状態を診て、必要と認めた健康チェックや精密検査を実施している実態をふまえ、原則健診の対象外とした。

問 除外対象者への周知はどのようにしているのか。

答 今年度においては、健診の対象外となった方へ、個別にお知らせをした。問い合わせがあった方については、個別に状況をお伺いし、説明と対応を行っている。



個人質問



地方創生について

大西 時子 議員

問 人口減少対策では、特に若い世代の結婚・出産・子育ての施策が重要と考えるが、どのような対策を検討しているか。

答 総合戦略策定にあたっての市民アンケート調査からは、「子育ての経済負担軽減」「子育てしながら働ける環境」「安全な子供の生活環境」の意向が見える。総合戦略として取りまとめている。



問 「くりちゃんバス」の充実で買い物難民・通院難民の対策、社会参加の機会の保障など、地方創生につながると考える。高齢者等の対策として、利用料の減免で、より有効に活用することが必要と考えるが、市の考えは。

答 くりちゃんバス充実の点では、日常生活における移動手段の確保を目的に、利用者のご意見や実態調査に基づいて継続的な見直しを重ねて、現在の路線網とダイヤ編成に至っている。また、高齢者の利用料金の減免については、民営路線と比べても廉価な料金設定になっていると考えている。



バイオコックスを資源循環型社会のモデル事業に

谷口 茂之 議員

問 総務省の「地域経済循環創造事業交付金」を活用するバイオコックス事業は、地域から排出される草木質、繊維系くず、廃プラスチック系産業廃棄物を高硬度固形燃料「バイオコックス」に加工し、化石燃料の代替としてエネルギーの地産地消とCO₂排出削減に貢献する全国的に稀な事業である。事業が軌道に乗ったとき、市民にはどのような利益がもたらされるのか。

答 バイオコックスを製造し普及することで低炭素社会の形成を図るもので、滋賀県産の再生可能エネルギーとして栗東市、ひいては滋賀の地域ブランドとして対外的に発信する材料にもなる。

問 市は、どのような支援・協力ができるか。

答 市として何が出来るかを検討する。

問 この事業を「地方創生」アクションの第一弾として位置づけ、例えば「環境先進市栗東」を打ち上げてはどうか。

答 総合戦略を策定中だが、基本目標「しごと」の「立地条件を活かして、安心して働ける産業雇用体制をつくる」の実現につながる事業であることから、どのような表現、方向性で盛り込めるか等について検討する。



▲バイオコックス



高齢者介護のニーズに応えられる施策を

田村 隆光 議員

問 当市の65歳以上高齢者世帯の実態は。

答 65歳以上の独居世帯は1,270世帯、高齢者のみの世帯は1,732世帯。うち老老介護状態にある人は208人である。

問 市内に登録されている在宅療養支援診療所および病院の数と市内の高齢者施設の設置状況と待機実態は。



答 市内には8ヶ所の在宅療養支援診療所があるが病院はない。介護保険対応の施設系サービスを提供する施設は、特別養護老人ホーム2施設、グループホーム2施設、介護老人保健施設1施設、住宅型有料老人ホーム1施設、サービス付き高齢者向け住宅3施設全ての合計定員は391人。待機者は現時点で介護施設194人、グループホーム39人である。

問 多様化する高齢者の介護や医療ニーズにどう応えていくのか。

答 医療・介護が必要な人の願いを実現するために、第6期栗東市高齢者保健福祉計画・介護保健事業計画に基づき、医療・介護・福祉に関わる多職種の関係者と連携し、在宅における医療・介護サービスを切れ目なく提供し、取組んでいく。



個人質問



子どもたちの 学力向上について 田中 英樹 議員

問 子どもたちの確かな学力や豊かな人間性を育むためには、学校図書館の充実を図る必要がある。学校図書館の現状を問う。

答 小学校は毎日開館しているが1日に1時間未満である。中学校は週2・3日で昼休みの15分間である。児童・生徒一人当たりの貸出数は、小学校平均7.2冊、中学校平均0.25冊である。

問 開館日や時間が、少ないのでは。

答 特に中学校では授業時間の長さや部活動等が多く、時間が取れない状況である。

問 図書の貸出促進の取り組みは。

答 県の学校図書館支援事業で大宝小学校がリニューアルを行い成果が出ている。今後さらに蔵書や環境の充実、読み聞かせ等に努める必要がある。

問 学校図書館法により学校司書^{*}を置くように努めなければならないと明記され、配置は重要であると考えますが今後の取り組みについて問う。

答 司書教諭、地域ボランティアやPTAの協力を得ているが、専門性を有した学校司書の配置は必要であると認識しているので、今後も引き続き検討していく。



※学校図書館に専属で配置され選書、資料準備や授業づくりの相談を行う職員。



「都市づくり」について 上田 忠博 議員

問 都市機能充実に向けた市街地形成の考えを問う。

答 今後「立地適正化計画」の策定に取り組み、都市や居住機能に係る誘導区域や都市機能施設に係る枠組みを検討していく。

問 「都市づくり」についての考えや方向性を問う。

答 環境負荷の小さな都市づくりを進める。今後、地域の実情をふまえ、秩序ある土地利用の規制・誘導を図り、都市の将来像とその実現に向けての道筋を明らかにして行く。

「上水道漏水事故」について

問 安養寺地先の2件の漏水事故の原因と実質的な損害額、また、市民への影響を問う。

答 2件とも布設40年超の鋳鉄管の老朽化によるものであり、

2件合わせて2,528万5,659円である。特に、8月4日の事故では広範囲で濁水、水圧低下が発生し、92世帯6事業所で断水となった。

問 上水道の老朽管の更新計画を問う。

答 現在、市水道事業整備計画を見直しており、老朽管の計画的な更新を行う。



5歳児検診の実施について 野々村 照美 議員

問 3歳6か月健診において発達障がい¹の発見の現状は。

答 3歳6か月健診で、診断・発見することはないが、平成26年度の健診で、何らかの支援が必要となった人は、受診者777人のうち133人（17.1%）である。

問 3歳6か月から就学前検診の間の発達障がい¹5歳児検診は早期発見・早期療育の意味でも重要では。



答 就園児に関しては、集団生活の様子を見ながら、保護者と連携して対応するとともに、子ども発達支援課の巡回相談等を利用し、関係機関が連携し対応している。

ストレスチェック 「心の体温計」の開設について

問 ストレス社会と言われる中、簡単にストレスチェックが出来るシステムを、市ホームページへ開設しては。

答 ストレスチェック後の相談支援体制が重要となる。今後、有用性について検討する。

個人質問



「若者が生き生きと働ける」 社会づくり 小竹 庸介 議員

問 新卒者が胸を張って就職されるが、就活中とのギャップで、3年以内に離職される方が大卒者で3割以上、短大・高卒者は4割以上である。離職実態調査は国・県だけでなく、市も必要では。

答 厚生労働省の離職実態調査について、従業員30名以上の企業と29人以下の企業を比べると29人以下の事業所の離職率が圧倒的に多く、本市の場合は、29人以下の事業所が93%を占めており、実態把握の必要性を認識している。今後、年2回の企業訪問の時に実態把握をしていく。



問 今回改正された「青少年雇用促進法」は、ブラック企業の締め出しである。市としての企業相談の窓口対応は。

答 本市では、労政に関する相談窓口は経済振興労政課が対応し、就労支援計画に沿ったかたちで就労相談に応じている。また、労働条件、職場でのハラスメントや労働問題の相談があった場合は、労働局の雇用均等室や労働基準監督署の総合労働相談コーナーを紹介し適切な対応に心掛けている。



人口ビジョンと 総合戦略骨子(案)について 片岡 勝哉 議員

問 人口ビジョン実現のための総合戦略には5カ年の目標や施策だけでなく、45年先を見据えた中長期的な視点や展望が必要と考えるが、骨子(案)にどのように盛り込まれているか。



答 長期戦略及びこの5年間に実施する具体的な施策を取りまとめることとしている。

問 総合計画の重点施策化になるということはないのか。

答 人口減少や地域経済縮小の克服を主眼としてまとめていくものであり、新しい事業も含めて取り組んでいく。

問 新型交付金*の対象とならなかった場合は。

答 総合戦略の中にある事業は目標達成のための戦略であり、やっていくべきと考える。

問 それほどの計画であるなら、市長の思いや考えを総合戦略骨子に入れるべきでは。

答 骨子(案)に十分プラスして総合戦略の素案をつくっていきたい。

*新型交付金…地方創生の深化を図る先駆的・優良な取組を支援。支援対象は「先駆性のある取組」「既存事業の隘路を発見し、打開する取組」「先駆的事例・優良事例の横展開」である。



民生委員・児童委員への 情報提供について 武村 賞 議員

問 民生委員は、日頃から地域住民の状況を適切に把握することが重要である。厚生労働省は、民生委員法で守秘義務が課せられていることから、活動に支障がないよう必要な情報を提供すべきとしている。個人情報保護条例の範囲内で、どのような情報が提供できるのか。また、個人情報は資料で提供すべきではないか。

答 情報提供の仕方については、近隣市の状況把握に努め、どこまでの情報が提供できるか検討する。

高齢者のグラウンドゴルフ場の 利用料優遇措置について

問 高齢者の方々が健康な生活を送っていただくために、グラウンドゴルフは健康づくりの一助となる。

野洲川運動公園のグラウンドゴルフ場の利用料について、70歳以上の方に優遇措置の検討や月に1回無料開放デーの設定をしてはどうか。

答 受益者負担を求めていることから、優遇措置は難しい。また、無料開放デーは、今後検討する。



個人質問



本市の学校給食について

中村 昌司 議員

問 中学校給食の復活に向けての議論の中、最終的には、栗東市立学校給食共同調理場建設基本構想・基本計画策定過程において、さまざまな意見に対してどのように集約を図られたのか伺う。

答 中学校給食は、実施の是非をはじめ様々な議論があり、その実施に際しては、弁当による昼食は親子間のコミュニケーションを図れるという点や、生徒自身が弁当を作ることができるという利点もあり、弁当日を一部残すということになった。

問 中学校給食の復活には、学校の教育活動・運営にも影響を及ぼす課題がある。例えば、給食準備等の時間割調整、教職員の給食に関連するさまざまな負担の増加などが想定できる。各校の理解のもとにどのような調整や要請を押し進めていかれるのか伺う。

答 新しい学校給食共同調理場の稼働開始は、平成30年度を目標としている。それまでの間において学校運営に及ぼす影響や教職員の負担等について研究していく。



★栗東高校美術科似顔絵制作チームによる似顔絵が完成★

この度、議員の顔ぶれも変わり、前回の似顔絵が大変好評であったことから、改めて議員全員の似顔絵を作成していただきました。

この似顔絵は今後、個人質問ページに掲載していきます。

似顔絵制作チームのみなさま、ありがとうございました。

(写真左から)1年 高田珠有さん 多胡早良さん 國師咲桜さん
2年 浦杉真穂さん 飯星翠さん



藤田 啓仁



寺田 範雄



國松 篤



田村 隆光



林 好男



大西 時子



中村 昌司



小竹 庸介



櫻井 浩司



三浦 悟



上田 忠博



片岡 勝哉



伊吹 みちえ



武村 賞



谷口 茂之



野々村 照美



田中 英樹



三木 敏嗣

議会報告会を開催しました

議会基本条例に基づく、「議会報告会」を4会場で実施しました。

市民の皆様には、最後まで熱心にご参加いただき、ありがとうございました。

今後さらに、わかりやすく、内容の濃い「議会報告会」にまいります。

●参加者数 57人

(4会場の内訳)

11月21日	コミュニティセンター金勝	25人
	コミュニティセンター治田東	8人
11月22日	コミュニティセンター葉山	5人
	コミュニティセンター大宝東	19人



アンケート結果

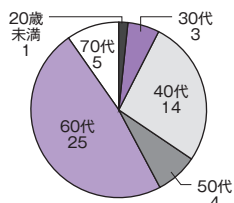
●市民アンケート回答数

52人(回収率91%)

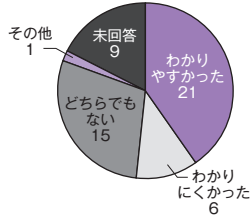
●参加者性別

男性41人 女性10人 未回答1人

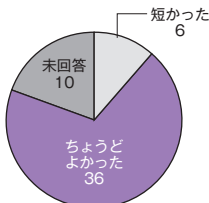
●年齢をお答えください



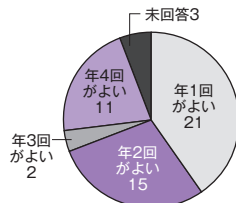
●議会報告会の内容はわかりやすかったですか?



●議会報告会の時間はどうでしたか?



●議会報告会の開催回数はどの程度がよいと思いますか?



主な質問と意見

第一部：議会報告（9月定例会）

9月定例会での各常任委員会の審査概要を、パワーポイントを用いて報告しました。

- ・マイナンバー制度について、障がい者に対する説明が必要。
- ・マイナンバー制度の詐欺対策をどうしているのか。
- ・学校給食共同調理場建設の進行状況、対応を市民へしっかり説明してほしい。
- ・学校の図書館を充実し、司書配置をしてほしい。
- ・災害時要支援者の情報を自治会に提供してほしい。
- ・民生委員の選出方法を改善してほしい。

第二部：意見交換

「防災について」をテーマとして、意見交換を行いました。

- ・防災無線（同報系無線）の改善をしてほしい。
- ・防災センターの設置をお願いしたい。
- ・防犯灯のLED化はどうなったのか。
- ・野洲川の危険性の確認をしてほしい。
- ・災害時に要支援者の情報を一挙に得られるシステムが必要。

意見等の取り扱い

議会報告や意見交換で出された意見等の取り扱いについては、今後、議会報告会の報告書の閲覧、市議会だより・市議会ホームページなどへの掲載を通じて広く公開する予定です。

ご意見・ご感想 ～アンケートより～

- ・福祉関係の報告が少なかった。
- ・高齢者問題は、時間の設定が少なく聞きたいことが聞けなくて残念だった。
- ・土日は開催されても、くりちゃんバスが運行されていないので参加できない方もいる。
- ・参加者が少ないのが残念。事前の連絡をもっと大きくするべきである。
- ・報告も必要だが、将来への展望やまちづくりの方向性を示してほしい。
- ・市民には、「行政」と「議会」の違いがわかりにくいと思った。
- ・資料もよくまとめられており、理解しやすかった。

他、多数のご意見・ご感想が寄せられました。

第4回 子ども議会を開催しました

平成27年11月29日、市内小学校6年生の17人が、子ども議会議員となり、栗東市の現状や課題について提案・質問し、市長をはじめ、教育長・各部長が答弁しました。

名前、質問事項を紹介します。なお、詳しくは市のホームページに掲載しますのでご覧ください。



(木場 陽菜津 議長)



①葉山小学校

そうま あかり
相馬 朱里 議員

・より気持ちの良い学校にするために、いじめをなくす取り組みについて



②治田東小学校

おおやぎ ともか
大八木 智華 議員

・災害のときの避難場所について



③葉山小学校

もりやま ゆい
森山 結衣 議員

・学校のトイレの改装について



④治田小学校

まつかわ ゆり
松川 裕里 議員

・親子で参加できる催しの充実について



⑤大宝西小学校

メリノ サチエ 議員

・ごみ問題の取り組みについて



⑥葉山東小学校

こしの まこと
越野 真琴 議員

・自然災害への取り組みについて



(森安 由稀 議長)



⑦治田小学校

しんや ちはる
真矢 知榛 議員


・子どもから大人まで気軽にスポーツができるまちづくりについて



⑧大宝小学校

かつかわ ななみ
勝川 菜々美 議員


・災害対策の取り組みについて




⑨金勝小学校
とみなが さわ 議員
富永 咲和 議員
・通学路の横にある刈り終えた草の後片付けについて



⑩大宝東小学校
かわやま 議員
川山 かれん 議員
・栗東市民プールの設置について




⑪金勝小学校
ほんだ あゆみ 議員
本田 愛歩 議員
・草むら、道などの所に犬のふんをそのまま放置していることについて




⑫大宝東小学校
こば ひなつ 議員
木場 陽菜津 議員
・放課後や休みの日に勉強を教えてくれる場所を作ることについて




栗東市子ども議会
(越野 真琴 議長)




⑬葉山東小学校
さかい はるな 議員
酒井 春菜 議員
・栗東市を通る旧東海道を魅力的な観光スポットにするために




⑭大宝小学校
あべ みすき 議員
阿部 瑞希 議員
・栗東で生まれたニュースポーツの普及について



⑮治田東小学校
おかもと しろうへい 議員
岡本 匠平 議員
・ポイ捨て対策について



⑯治田西小学校
てらい みこと 議員
寺井 美琴 議員
・高齢者が喜んでくれるようなまちづくりについて



⑰大宝西小学校
もりやす ゆき 議員
森安 由稀 議員
・まちの施設のバリアフリー化などについて

傍聴 にお越しく下さい

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。

開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。(但し、15日・18日は13時30分)

日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承下さい。

3月定例会の予定

3月 1日	本会議(議案上程等)
8日	本会議(代表質問)
9日	本会議(代表質問・個人質問)
10日~11日	本会議(個人質問)
14日~18日	各常任委員会
24日	本会議(委員長報告・採決)

編集後記

今号も最後まで議会広報をご覧いただきありがとうございました。

記事にもありましたように、今号より個人質問の議員写真が似顔絵に変わりました。昨年の議会議員改選に伴い、複数期の議員の似顔絵も含め一新していただきました。中には同じ写真を提出された方もおられましたが、作成いただいた作者が違うため前回とは少し雰囲気が違うものになったようにおもいます。

議会広報も編集や校正しただけでは表現も大きく変わってくるものです。「この表現をした場合、市民の皆さんはどのように受け取られるだろう…?」「議事録通りよりもこのような表現のほうが正しく伝わるのでは?」など編集会議では様々な議論をしました。

今後も委員会メンバーの個性を活かし、さらに伝わりやすい議会広報を目指してまいりますので今後ともご指導お願いいたします。

議会広報編集特別委員会

(委員長) 片岡 勝哉 (副委員長) 國松 篤
(委員) 林 好男 寺田 範雄 伊吹みちえ
野々村照美 三木 敏嗣